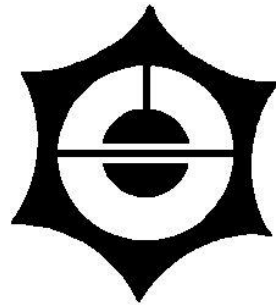


平成30年度

広聴一年

(区民の声)



台東区総務部

広報課

はじめに

台東区では、区民の皆様が生活のなかで感じているご意見を「区民の声」として広くお聞きしています。

区民の皆様からいただいたご意見、要望等につきましては、迅速に回答するとともに、「区民の声」として区政運営の資料として活用させていただいております。

この度「平成30年度広聴一年（区民の声）」を作成しました。この報告書は平成30年度の広聴活動による「区民の声」を集約するとともに区ホームページに掲載するなど区民の皆様や関係機関と情報の共有化を図っております。

令和元年8月

台東区総務部広報課

※この報告書は、台東区公式ホームページ <http://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。

目 次

I 集団広聴

1. 区長と語る会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (1) 台東区町会連合会・町会役員との語る会・・・・・・・・ 2
- (2) 台東区町会連合会・女性部との語る会・・・・・・・・ 8
- (3) 台東区立中学校生徒との語る会・・・・・・・・ 9
- (4) 区内活躍団体との語る会・・・・・・・・ 10
- (5) 青年との語る会・・・・・・・・ 11

II 個別広聴

1. 区民の声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (1) 受付件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- (2) 課題別分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- (3) 関係所管別分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- (4) 処理結果別分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

III 調査広聴

1. 区政サポーター制度・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (1) 第1回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- (2) 第2回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- (3) 第3回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (4) 第4回アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

I 集団広聴

集団広聴は、各種の懇談会に区長が出席して、直接区民の皆様の意見を伺うために実施しています。

語る会で寄せられた、地域で抱える問題や日常生活の中で感じた疑問点、意見、要望などは、区政への貴重な意見として活用しています。

平成30年度 集団広聴実施状況

名 称	対 象	回 数	参加人数
区長と語る会	台東区町会連合会（地区町連）	11回	233名
	台東区町会連合会（女性部）	1回	38名
	区立中学校 （中学生）	1回	14名
	区立中学校 （立志式に携わる中学生）	1回	19名
	区内活躍団体 （サークルやまことば）	1回	10名
	青年 （「新成人を祝う会」実行委員会）	1回	8名
合 計		16回	322名

1. 区長と語る会

台東区町会連合会（11地区）と台東区町会連合会女性部、区立中学校、区内活躍団体、青年を対象に16回開催し、延べ、322名の方の出席をいただきました。

語る会は、区政全般に関する意見や要望について、区民の方から直接区長が伺う対話方式で実施し、身近な問題に対する意見・要望等を多数いただきました。

意見・要望等とその回答の要旨は、「平成30年度区長と語る会結果報告書」（平成30年度登録第96号）にまとめました。「平成30年度区長と語る会結果報告書」は、区政情報コーナーや図書館等で閲覧できます。また、台東区公式ホームページに公開しています。

(1)「台東区町会連合会・町会役員との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
東上野地区	6月 8日 (金)	東上野区民館	18名
馬道地区	7月 6日 (金)	馬道区民館	23名
竹町地区	7月10日 (火)	台東一丁目区民館	17名
浅草橋地区	9月 7日 (金)	浅草橋区民館	13名
谷中地区	9月 7日 (金)	谷中区民館	21名
入谷地区	9月10日 (月)	入谷区民館	25名
上野地区	9月11日 (火)	上野区民館	30名
清川地区	9月12日 (水)	清川区民館	20名
金杉地区	10月 5日 (金)	金杉区民館	14名
浅草寿地区	11月 2日 (金)	寿区民館	28名
雷門地区	11月 5日 (月)	雷門区民館	24名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

東上野地区

◆地震が発生した時について

コントロールタワーと言われる区の災害対策本部には、現在、プロフェッショナルな方が何人いるのでしょうか。そして、発災後、1、2時間ぐらいでどれぐらいの人が駆けつけることができるのでしょうか。

また、避難所である旧下谷小学校については災害が起きてから具体的に対策等を決めるのではなく、今のうちから、避難所運営委員会などでイメージ図なども作っておく必要があると思います。

【回答】

台東区には防災士の資格を持つ職員が31名います。また、医師や消防、警察からの派遣職員など専門性の高い職員もいます。

今年度は全職員数の約4分の1の職員が区役所から5キロ圏内に住んでおり、毎年、発災を想定した参集訓練を実施し、対応力の強化に努めています。また、「台東区災害対策職員行動マニュアル」も定めており、震度5強以上の地震が発生した場合は全職員で対応します。

避難所の利用については、まず、一時集合場所に集合し、安全が確認された避難所へ町会単位で移動となります。避難所には避難所運営委員会が設置され、皆さんで協力しながら利用していただくこととなります。イメージ図の作成等については担当から連絡をさせますので、ご相談させていただきたいと思います。

※平成30年7月、今後の旧下谷小学校の避難所運営委員会開催に向け、4町会長と協議を進めることを会長に説明しました。(危機・災害対策課)

馬道地区

◆民泊について

最近、空き家やマンションの空き室等を使用して、民泊を行うところがありますが、騒音やごみ出しのマナーなど、近隣住民の方は不安を感じています。

民泊について、区への届け出の状況はどのようになっていますか。

また、届け出をしない民泊の営業は違法ということですが、区で取り締まりや指導などの措置を行っていただけるのでしょうか。

【回答】

6月15日から住宅宿泊事業法が施行されましたが、区では、地元の方にも観光客にも「安全と安心」をおもてなしの柱として、民泊の条例を制定しています。

(生活衛生課長)

民泊営業の届け出は、6月15日の施行時点で42件でしたが、7月1日時点では107件となり、更に増えることが予想されます。

届け出住宅に対する騒音やごみ、マナーの問題等の心配がある場合は管理者等に指導をしますので、生活衛生課にご相談ください。

6月15日以降、届け出の無い民泊は全て違法ですので、警察や消防等と連携して取り締まりや指導をしていきたいと考えています。

また、民泊営業を行う際は、玄関や集合ポスト等に標識及びステッカーを表示することになっています。表示がなく民泊営業の疑いがある場合には、生活衛生課にご連絡ください。

竹町地区

◆台東デザイナーズビレッジの卒業後の活動について

台東デザイナーズビレッジを卒業した後、台東区内で起業し活動している方々はどれくらいいるのでしょうか。

近年カチクラ地域ということで、この御徒町近辺にも「ものづくり」やデザインの店舗や事務所が増えたような気がします。5月に開催されたイベント「モノマチ」も年々賑わっているようですので、竹町地区の活性化に一役かってくれることを期待しているところです。

【回答】

「モノマチ」は今年で10回目を迎え、今では多くのお客様が訪れていただけるようになり、地域全体の活性化につながっていると思っています。

ファッションやデザインでの起業を目指すデザイナーやクリエイター等を支援する施設である台東デザイナーズビレッジでは、80を超えるブランドを輩出しています。伊勢志摩サミットでは、当時のデザイナーズビレッジの入居者が応募したラペルピンが採用され、サミットで使用されました。

これからも「モノマチ」の皆さまへの支援を続け、地域全体の活性化につなげていきたいと考えています。

浅草橋地区

◆浅草橋駅東口周辺道路への店舗看板・販売什器による不法占拠について

浅草橋駅周辺で、道路にテーブルを置いたり、大きな立て看板を出して営業しているような飲食店等の新規店舗が多数見られるようになりました。

また、夜間には客引き等も目にするようになり、私たちが育った浅草橋の風景とは一転している状況が見られます。

この地域の古きよき風情を残し、このような無秩序な営業が行われないような条例や指導等をお願いいたします。

【回答】

道路上に立て看板やテーブル等を置くことは、道路法及び道路交通法違反となるため、区では道路パトロールを実施し、所有者が判明している場合には、不法占有状態が改善されるまで粘り強く指導を行っていきます。

また、「台東区公共の場所における客引き行為等の防止に関する条例」を昨年10月に施行し、区内全域の公共の場所における客引き等の迷惑行為に対しては、警察と協力しながら対応しています。警察、地域、行政が一体となって取り組むことが大事ですので、今後ともご協力をお願いいたします。



谷中地区

◆防犯カメラ電柱について

外国人観光客の増加や路上停車の増加などから、更なる防犯強化が必要と感じています。都霊園桜並木入口よりの街路灯に防犯カメラを区の費用負担で設置してほしいです。

また、都道に関しては電柱の埋設化工事が行われましたが、区道に関しては未だ工事が行われていません。

都霊園桜並木通り「ふじむらや」前、他にある電柱4本を危険防止及び景観上、撤去してほしいです。

【回答】

区は、防犯カメラを小学校の通学路等に設置しています。それ以外の場所については、原則として各町会に設置をお願いしていますが、電気代に対する補助など町会の負担が少なくなるような施策を考えています。

また、ご指摘の電柱4本は霊園の中にあり、工事等は東京都が行うこととなりますので、撤去のご要望については霊園事務所にお伝えします。

※谷中霊園の電柱について、東京都建設局及び谷中霊園管理事務所へご意見の内容を伝えました。(地区整備課)

入谷地区

◆区街路灯におけるLED電球化について

行政は、LED電球への取り替えを推奨していますが、台東区の街路灯は暗く、対応が遅れているように感じます。

安全・安心を考えると、LED電球に取り替える必要があるのではないのでしょうか。

【回答】

区では、平成23年度からLED等の省エネ環境に配慮した街路灯への改修を進めています。区内には街路灯が約1万基あり、そのうち、約7千基は改修が完了しています。

入谷1、2丁目エリアにある約160基の街路灯についても、省電力型街路灯への改修工事を行ってまいります。

※入谷1、2丁目エリアの省電力型街路灯工事は、平成30年11月に完了しました。(土木課)



上野地区

◆東西めぐりんの停留所について

上野と御徒町、浅草と浅草橋など南北方向に運行する鉄道やバスがあります。

池之端地域は文京区からの都バスが主で、区内の他の地域と東西方向での繋がりがありません。東西めぐりんや都バスの2系統がありますが、浅草に行くのは同じ区内なのに非常に不便です。

今後、東西めぐりんや都バスなどにより、横の繋がりをもっと大切にしていきたいと思えます。

【回答】

めぐりんは、様々な交通機関の組み合わせによって回遊性を図っているところです。利便性の良い形で取り組んでいきたいと思えます。

清川地区

◆防災行政無線の放送について

ここ数年、地震や豪雨等の災害が多く発生し、多くの尊い命が犠牲となっています。また、近隣国によるミサイル発射実験等、私達の生活は不安にさらされています。危険から身を守るうえで、避難情報はとても大切であり、特に防災行政無線は一番身近な情報を得る手段です。

ところが、その防災行政無線の放送が聞こえません。高層ビルや天候等の影響があるのかも知れませんが、いかなる状況でも全ての区民に聞こえることが最低条件ではないでしょうか。放送が家の中まで聞こえないということは、防災対策をしていないことと同じだと思います。聞こえない地域を調査し、スピーカーの増設や設置場所を一考するべきではないでしょうか。

【回答】

防災行政無線が聞こえづらいというご指摘は、他の地区からもいただいています。高層建物が多く建つことで放送が聞こえづらくなってしまいうことがあり、この課題を解消するため、防災行政無線のデジタル化に合わせ、平成28年度から難聴地域の調査を実施し、今年度から整備工事に着手しています。

また、今後はメール配信システムとの連動する機能も取り入れていくなど、正確な情報を伝えられるよう努めてまいります。



金杉地区

◆マンション等の町会加入促進について

建物を建てる前に町会に入っていたきたいと、建築業者に話しをするのですが、結局、町会費を払ってもらえないマンションが3軒程あります。

各戸へ行き、町会加入の勧誘をしてくださいと言われますが、マンションへ行っても留守でほとんど会うことができません。

そこで、固定資産税等に少し上乗せをして、その一部を町会に還元していただくような仕組みを設けてはいかがでしょうか。

【回答】

マンションも含めて転入者には、町会加入の案内をしています。また、町会には、加入していない方も参加でき、町会の良さを体験できるイベント等を東京都の「地域の底力事業」を活用し、実施していただいています。

区では現在、マンション実態調査を行っており、今後マンションに対する対応方法等の検討を進めていきますが、固定資産税等を活用することはできません。

町会加入の問題は台東区全体の課題でもあると感じていますので、よく検討させていただきたいと思います。

浅草寿地区

◆豪雨対策について

今年は7～9月と台風が連続上陸し、いずれも大型で長期的豪雨となり、特に7月の西日本豪雨は各地に甚大な被害をもたらしました。

あのような豪雨が関東に上陸した場合、また荒川の決壊が心配です。

台東区の対策を聞かせてください。

【回答】

区では、台風の接近情報が入ると、数日前から水防体制を組み、情報収集や職員の区内巡回パトロール等も行っています。

荒川の決壊に対しては、決壊の情報が入る前から避難勧告や避難指示を発令し、避難所の開設や運営、避難誘導等を行うことになっています。また、その他の水害の場合は垂直避難をお願いしており、都営住宅とは避難の協定を結んでいます。民間のマンションについてはセキュリティの関係等もありますので、区で検討を始めています。

災害時は情報の確保が非常に重要であることから、防災行政無線のデジタル化を進めています。また、防災アプリ等の周知も図っています。

今後も、防災対策を区の最重要課題として、引き続き取り組んでまいります。

雷門地区

◆区からの回覧物・ポスター掲示の依頼について

数年前にも質問しましたが、区からの掲示物の依頼がとても多いです。特に、9月と10月は多く、掲示板の面積を考えると貼り切れないほどのポスターが送られ、各部署間で調整ができていないように思います。

貼り切れないポスターをどうすればよいのか、町会役員では判断できないと思います。回覧形式の小さいものにすれば各戸に回すこともできると思いますので、改善をお願いいたします。

【回答】

ポスターやチラシは、周知手段としては大変重要な役割を果たしていますので、これからも町会の皆様にご協力をいただきながら続けていきたいと思っています。

秋は行事が多いため、枚数も多くなってしまっています。さらに、警察や消防等、防犯上貼る必要があるポスター等もあることから、平成29年度以降はポスターのサイズをB3以下に徹底する等の対策を行っています。

町会に依頼する枚数については徹底できるよう検討してまいります。

(2)「台東区町会連合会・女性部との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
女 性 部	1 1 月 1 4 日 (水)	区役所 1 0 0 1 会議室	3 8 名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

◆街路樹等の樹名板の設置等について

子供たちが花と触れ合える町として、学校の通学路等を中心に、道路の街路樹等に樹名板を設置してはいかがでしょうか。

子供たちは名前を覚えることが得意です。子供たちや親子に樹木や草花に興味を持ってもらうことは、「花の心プロジェクト」の推進に役立つのではないのでしょうか。

子供たちや地域の人々が草木に関心を持ったり大切にしてもらうことで、ゴミの投棄や花の持ち去り等が少なくなり、区民が来街者をきれいな草花でお迎えするおもてなしにもつながるのではないかと思います。

【回答】

樹名板は、樹木の植え替えの際に設置していますが、植え替えの際ではかなりの年数を要してしまうので、全ての木ではなく同じ種類の木には間隔をあけて設置する等の対応を検討したいと思います。

また、花については既に設置しているところもありますが、花にも様々な種類がありますので、今後も設置し、「花の心プロジェクト」をさらに推進していきたいと思います。

◆男女平等参画推進について

私は「はばたきプラン21」の男女平等参画会議に参加させていただき4年になりました。

会議では、あらゆる場において男女の格差をなくしていくにはどうしたらよいかと、常に話し合ってきました。

私の町会では、女性部での活躍はもとより、防災等の分野でも女性役員が町会の理事会に出席するとともに、積極的に発言し町会運営に参画をしています。

区の色々な審議会等への女性委員の参画状況と町会等地域における活動への参画の支援について教えてください。

【回答】

台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」のなかで、区の審議会における女性委員の割合は、今年の4月1日現在26.3%と、まだ目標の30%には達していないため、引き続き取り組んでまいります。また、審議会だけでなく町会等、様々な場面で女性の参画が促進されるよう、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

現在、地域活動の支援については、防災講座や防災フェアでのパネル展等を実施し、地域でリーダーシップを発揮できる女性の育成等に努めています。

今後も、女性の活躍が進むよう積極的に取り組んでまいります。

(3)「台東区立中学校生徒との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
中 学 生	10月14日(日)	区 役 所 庁 議 室	14名

テーマ：「こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」」

各区立中学校の代表が、テーマについての自分の考えを発表しました。中学生からの区へのご意見やご提案などをお聴きしました。

※詳細につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。



対 象	開 催 日	会 場	参加人数
立志式に携わる中学生	2月17日(日)	保 健 所 大 会 議 室	19名

テーマ：「立志の宣言を書くにあたって感じたことや考えたこと」

立志式に携わる中学生の代表が、テーマについての自分の考えを発表しました。区長も、中学生の夢や希望に満ちあふれた発表を聞き、将来に期待を寄せていました。

※詳細につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。



(4) 「区内活躍団体との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
サークルやまことば	10月26日(金)	区役所庁議室	10名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

◆外国人の子供の学校教育について

日本に来たばかりの外国人の子供への学校教育、とりわけ日本語教育については、どのような対策を取っていますか。

また、新しく教科化された道徳教育の中に、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」という徳目がありますが、外国人の子供に対してどのような配慮をしていますか。

【回答】

日本語の習得が十分でない子供に対しては、園や学校での生活を送るうえで必要な日本語を習得するために、専門の講師を派遣しています。また、道徳科の授業では、特定の価値観を子供に押し付けるような指導はせず、国際社会と向き合い、国際親善に努めようとする態度につながるよう指導をしています。

国籍の異なる子供同士と一緒に学ぶことで、互いの文化の良さに気付くことができ、親しもうとする気持ちを高めることにもつながると思っています。

◆学校給食の外国人対応について

外国人は宗教上の理由等で食べることの出来ないものがあり、学校給食で困ることがあるそうです。

例えば、インド人はベジタリアンが多く、日本の学校ではなくインド人学校に通う人もいます。しかし、近所の子供達とも仲良くさせたい、居住区の学校に通わせたいと思っている人も多いです。

外国人にも対応した学校給食を作ることはできないでしょうか。

【回答】

学校給食は「食育」の一環として取り組んでいます。

学校給食は献立が種類のため、食物アレルギー等がある場合は保護者と学校が相談し診断書に基づき、食べられない食材を除去します。また、食べられない食材が複数ある場合は家庭から持参する場合があります。

食物アレルギーや宗教上の理由等への対応については、個別に学校と保護者で相談していただきたいと思います。

(5)「青年との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
「新成人を祝う会」実行委員会	11月8日(木)	区役所庁議室	8名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

◆成人教育について

大学生や社会人に向けての学習や体験等を提供するような機会がもっとあっても良いと思います。

現在、台東区にそういう機会があるのでしょうか。また、何か考えていることがあればお聞きしたいです。

【回答】

台東区でも、年齢にかかわらず生涯を通じて学習するという「生涯教育」に取り組んでおり、様々な講座等を開催しています。また、働いている人や学生等、様々な方が参加できるように、休日や夜間に講座を開催する等の工夫もしています。

講座等の情報は区ホームページ等で確認できますので、興味のある講座等がありましたら、ぜひ参加していただきたいと思います。

◆2020年のオリンピックでの観光客へのアピールについて

オリンピック開催で、たくさんの観光客が上野や浅草等を訪れると思いますが、そのほかに台東区でアピールしていきたいところがあれば、教えてください。

【回答】

台東区にはアピールするものがたくさんあります。

例えば、2年前に東京初の世界文化遺産となった国立西洋美術館をはじめ、寛永寺や旧東京音楽学校奏楽堂等、江戸時代から昭和にかけての素晴らしい建築物がたくさんあります。

今年は、江戸ルネサンス元年「江戸に学び、未来を拓く」というプロジェクトを進め、台東区の様々な魅力を掘り起こすという取り組みも行っています。

これからも、台東区の素晴らしさを、より多くの方にアピールしていきたいと思います。



Ⅱ 個別広聴

1. 区民の声

区や区政に対する意見や要望等を「区長への手紙」専用はがきや、窓口、電話のほか、台東区ホームページからも受け付けています。

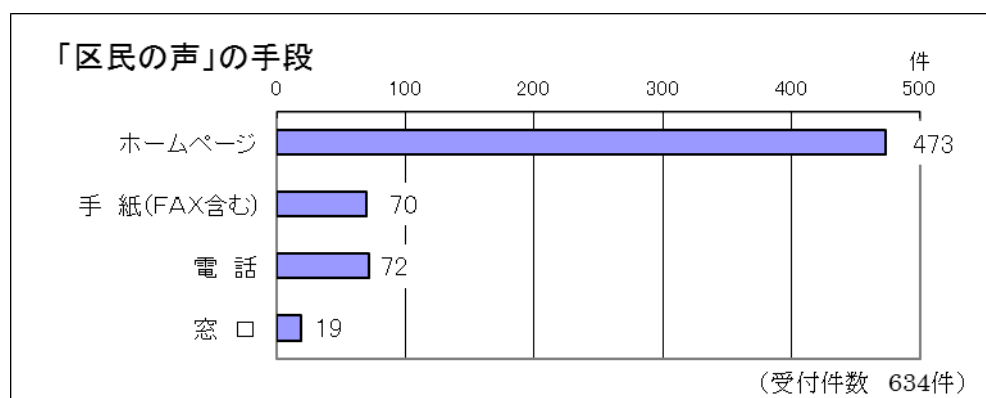
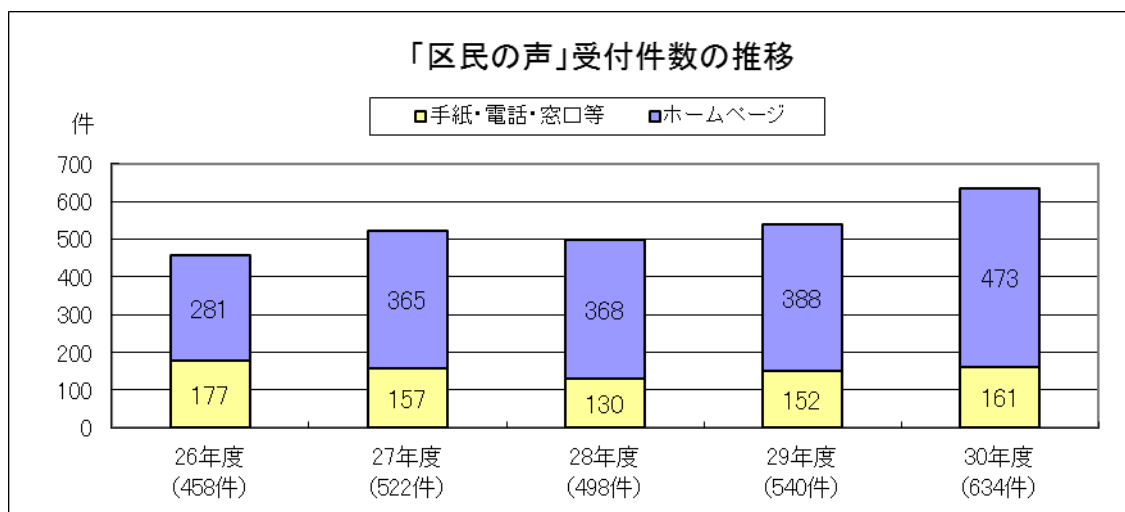
また、寄せられた意見等とその回答の要旨の一部を台東区公式ホームページに公開しています。

(1) 受付件数（1件の受付件数で複数意見もあるため、意見数を延件数とする）

区民の声	受付件数	延件数
区長への手紙（手紙・窓口・電話等）	161件	166件
区長への手紙（ホームページ）	473件	490件
計	634件	656件

受付件数は634件で、前年度の540件より94件の増となりました。また、施策別、所管別など延件数は656件で、前年度の555件より101件の増となりました。

「区民の声」の手段では、ホームページからの意見が473件で、受付件数全体の約75%を占めています。

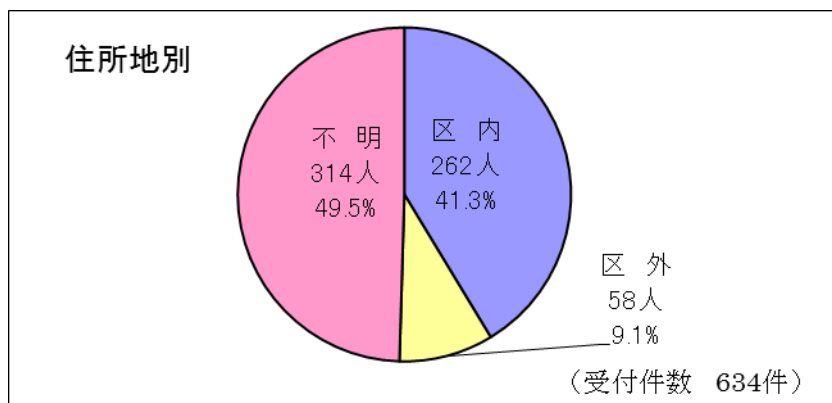
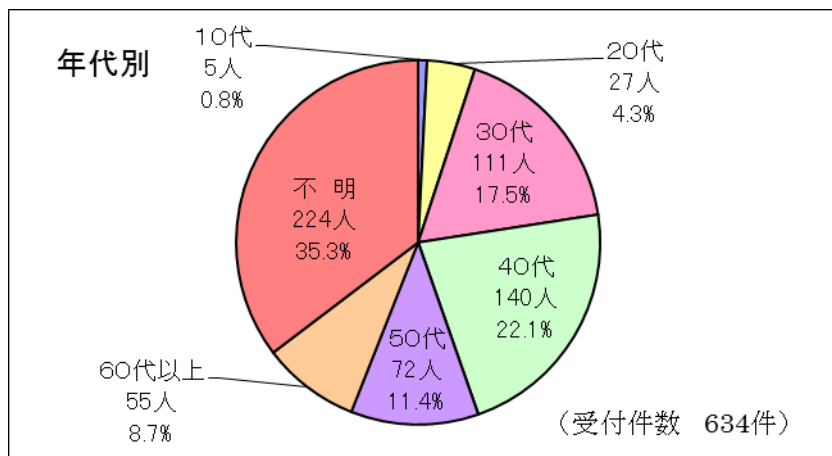
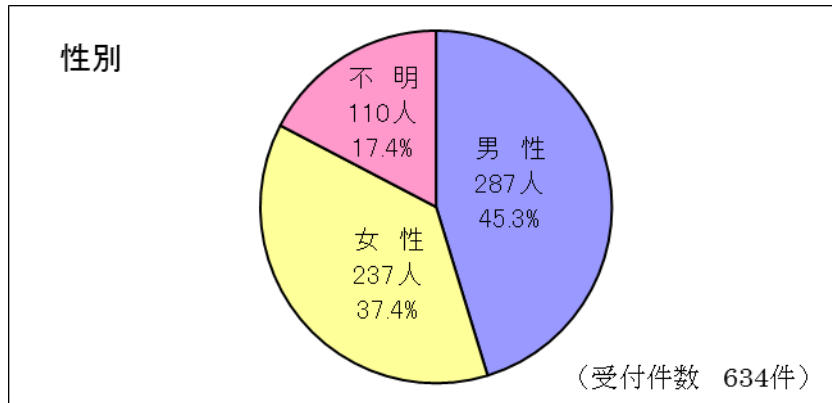


① 性別 ・ 年代別 ・ 住所地別

性別では、男性からの意見が多く、女性の約1.2倍となりました。

年代別では、30代、40代の方で全体の約4割を占めました。

また、住所地別では、全体の4割以上が区内の方からの意見でしたが、区外の方からの意見も約1割ありました。



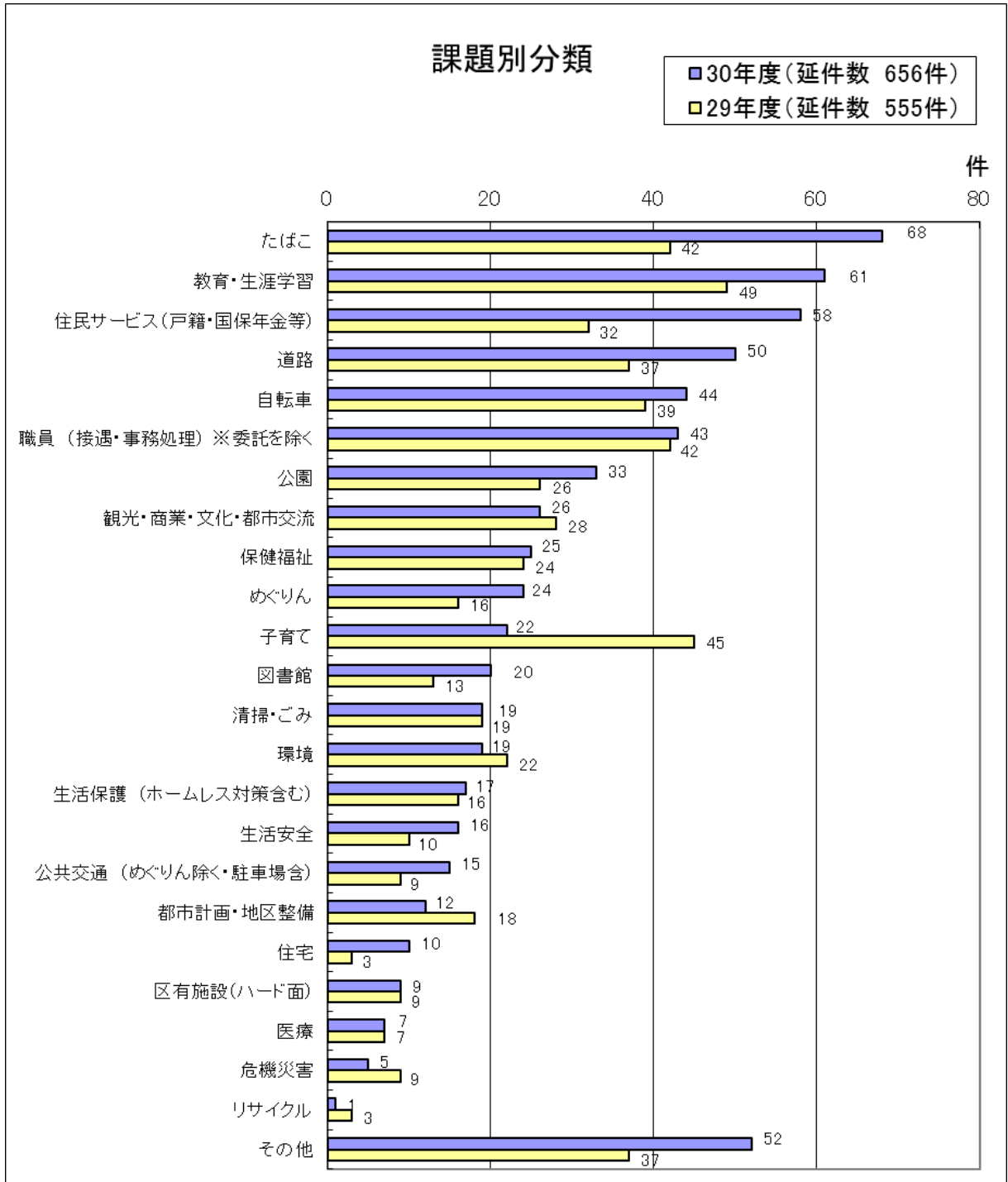
(2) 課題別分類

「区民の声」656件（延件数）の内の課題別意見です。

平成30年度は、【たばこ】と【教育・生涯学習】に関する意見を多くいただきました。

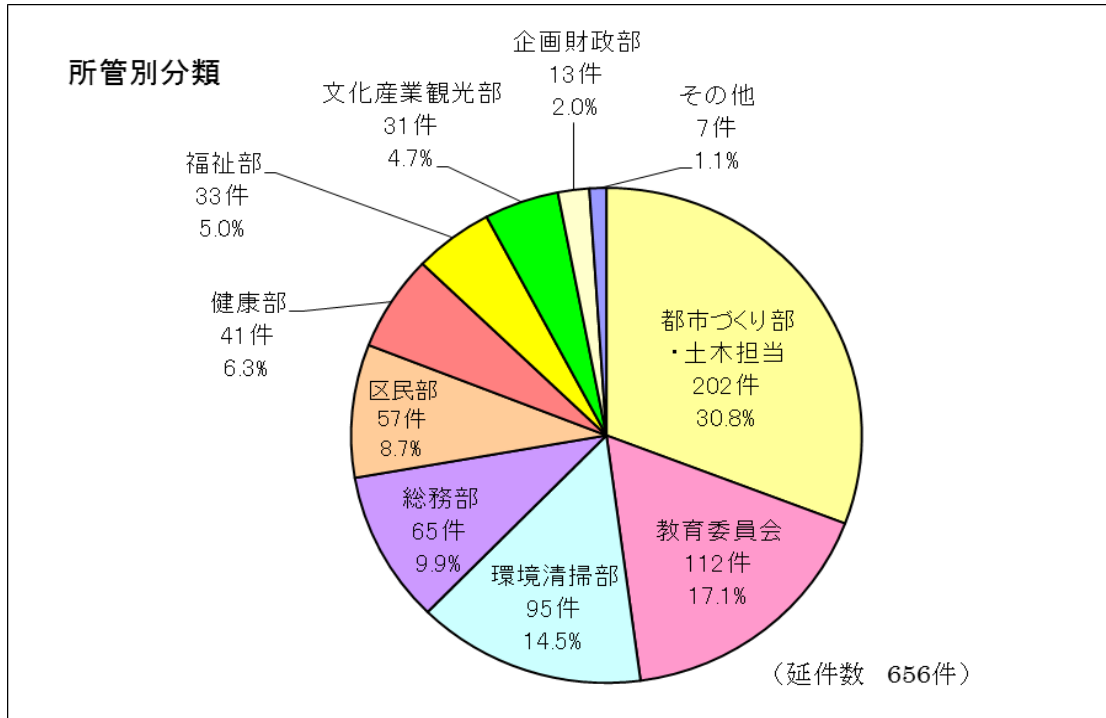
【たばこ】に関する意見の多くは、歩きたばこや喫煙所に関するものでした。

【教育・生涯学習】に関する意見の多くは、保育園に関するものでした。



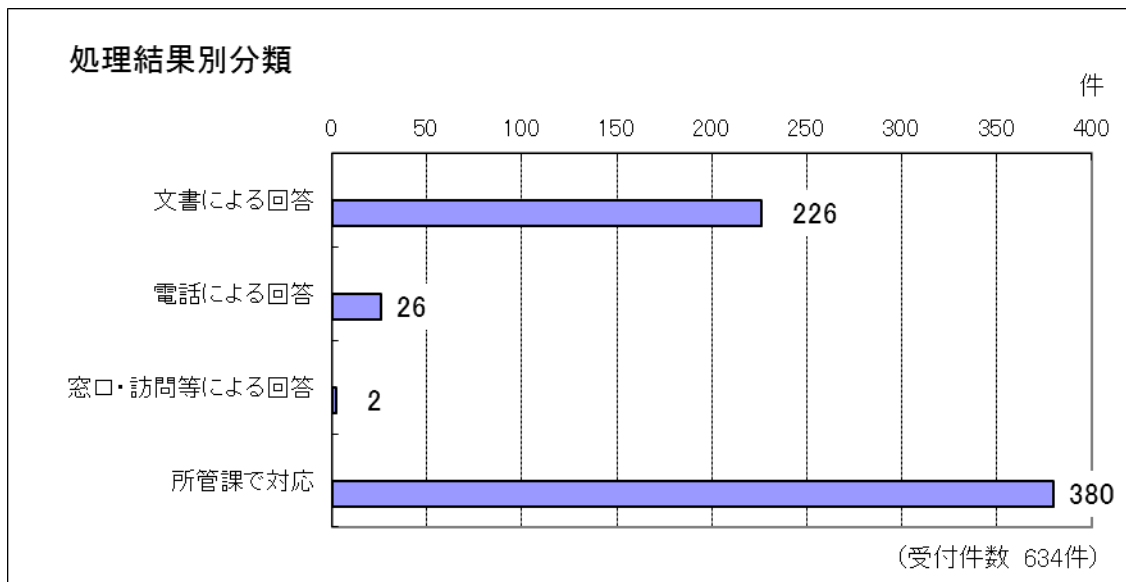
(3) 関係所管別分類

関係所管別に見ると、都市づくり部、土木担当（都市計画や、循環バス“めぐりん”、自転車問題、公園等を所管）、教育委員会で全体の約5割を占めました。昨年同様この3部署が上位を占めました。特に、自転車問題、循環バスめぐりん、子育て施策に関しては区民の方の関心の高さがうかがえます。



(4) 処理結果別分類

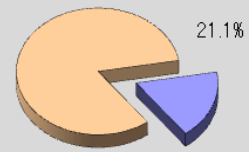
受付件数のうち、文書で回答226件、電話で回答26件、その他、窓口や直接訪問し説明を行ったもの等が2件でした。匿名や住所等が不明な方には回答できず、所管課にて対応した件数が380件でした。いただいたご意見の約4割については、文書・電話・その他（窓口・訪問等）の方法で回答しました。また、匿名等のご意見についても、必要なものは調査をし、貴重なご意見として区政に活用させていただきました。



以下は、「区長への手紙」に寄せられたご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

環境・リサイクル・保健福祉 【139件 / 656件】

(清掃・ごみ、リサイクル、環境、たばこ、福祉)



◆歩きたばこについて

台東区には、歩きたばこをしている人、バスを待っている間に喫煙をする人が多いです。特に歩きたばこは常習化しています。

たばこを吸うのは本人の自由ですが、灰がかかったり、煙や臭いが来たりすることで、たばこを吸わない周りの人を不快な気持ちにさせます。もっと歩きたばこ等、喫煙に対して力を入れていただきたいです。

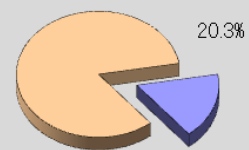
【回答】

区では、「ポイ捨て行為の防止に関する条例」により、区内全域でポイ捨てを禁止するとともに、歩きたばこをしないよう定めております。また、歩行者の安全や地域美化等の観点から迷惑喫煙を無くしていくため、マナー指導員による巡回・声掛けのほか、路面標示シートや啓発ポスターの掲示などの様々な啓発活動を実施し、喫煙者のマナー向上に努めております。

しかしながら、区といたしましても、路上での喫煙に関して多くの課題があることは、十分に把握しております。これまでも、区民の皆様を始めとする様々な方から、歩きたばこやポイ捨てについてご意見をいただいております。平成30年度からはマナー指導員を増員し、歩きたばこなどの迷惑喫煙に対する指導を強化しております。また、東京都では受動喫煙防止条例が、国では改正健康増進法が成立したことも踏まえ、区内の喫煙環境の改善に向けて今後も様々な検討を行い、たばこを吸う人も吸わない人も共存できる環境づくりに努めてまいりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

交通・自転車・駐車場 【133件 / 656件】

(めぐりん、公共交通、道路、自転車)



◆シェアサイクルについて

千代田区や文京区で導入しているシェアサイクルは、とても便利で、よく利用しています。しかし、台東区のシェアサイクルはとても使いづらいので、台東区にも導入して欲しいです。

【回答】

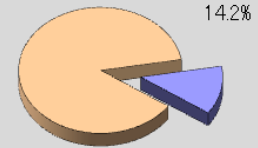
区では、放置自転車対策につながるようなシェアサイクルを検討し、実証実験の協力事業者の募集を行いました。

事業者の募集にあたっては3社まで参加可能とし、駐輪ポートに駐輪可能台数を超えて駐輪できないシステムを導入していること等を条件に募集した結果、条件に合致した民間事業者と協定を締結し、実験を行っております。

実験の結果を踏まえ、改めて導入に向けて検討を進めてまいりますので、ご理解くださいますようよろしくお願いいたします。

まちづくり・住まい・災害対策 【93件 / 656件】

(危機災害、生活安全、生活保護、都市計画・地区整備、公園、住宅)



◆公園の清掃について

金竜公園の遊具の清掃をお願いしたいです。子供が保育園の野外活動で利用しているのですが、他の公園に比べて遊具が汚いです。特に滑り台、レンガの階段が汚く、気になります。大きなゴミなどは無いが、レンガや遊具を高圧洗浄機やブラシなどで水洗いし、綺麗に出来たらいいと思います。

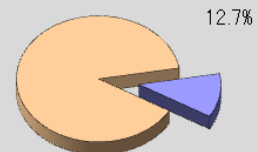
【回答】

公園課職員が現地調査し、ご指摘の遊具やレンガ階段を中心に現場の調査を行いました。ご指摘の遊具まわりは、樹木から出る油分が付着し風が強い日に表面の土が広範囲に飛散し、遊具や階段に付着したものと思われます。公園管理事務所で、高圧洗浄機により水洗いを実施して汚れを落としました。

今後、遊具やレンガ階段の汚れが、散見された場合には、清掃を行うようにいたします。

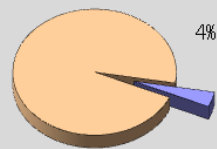
教育・保育 【83件 / 656件】

(子育て、教育・生涯学習)



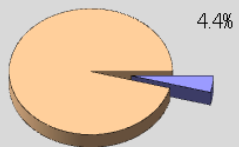
観光・産業 【26件 / 656件】

(観光・商業・文化・都市交流)



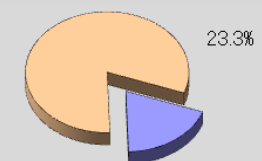
区民館・図書館などの区民施設 【29件 / 656件】

(区有施設、図書館)



その他 【153件 / 656件】

(住民サービス、職員、その他)



Ⅲ 調査広聴

区では、調査広聴として、「台東区民の意識調査」（奇数年に実施・30年度は実施せず）や「区民サポーター制度」を実施し、区民の意見や要望などの区政への意向の把握に努めております。

1. 区政サポーター制度（平成30年度4月現在・200名）

公募による区政サポーターにアンケートを実施し、区政への参加を図り、アンケート結果を区政運営に役立てることを目的として、平成19年度から実施しています。

時間の制約を受けずに幅広い年代の区民が参加できるように、郵便とEメールの二つの方法にて、4回のアンケートを行いました。

調査の結果は報告書にまとめ、区政情報コーナーや図書館等で閲覧することができるほか、台東区公式ホームページで公開しています。

区政サポーターとは

資格：公募による、区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便またはEメールで回答する。

任期：2年（平成29年4月1日～平成31年3月31日）

区政サポーター属性

（年齢別）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
4名	7名	40名	55名	30名	31名	28名	5名	200名

（地区・男女別）

地区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男性	4名	3名	9名	17名	10名	4名
女性	1名	6名	11名	11名	9名	11名
計	5名	9名	20名	28名	19名	15名

地区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男性	4名	8名	8名	13名	9名	89名
女性	10名	19名	12名	11名	10名	111名
計	14名	27名	20名	24名	19名	200名

(1) 第1回アンケート調査

1. 調査項目

「受動喫煙・喫煙習慣について」

「健診について」

「障害の有無に関わらない文化芸術活動について」

2. 調査概要

調査期間：平成30年4月27日～5月10日

調査方法：郵便による調査 77名

Eメールによる調査 123名

回収数：有効回収数 185名

有効回収率 92.5%

3. 調査結果の概要

【受動喫煙・喫煙習慣について】

今回の調査では、喫煙者も非喫煙者も受動喫煙を防止する為の取組みを行っていることが分かり、たばこに関する意識の高まりを感じました。

また、受動喫煙防止推進キャラクター「けむたいぞう」をキャンペーン等で活用していますが、認知度は低く、今後の効果的な活用が必要であることが分かりました。

今回いただいた飲食店の禁煙・分煙化についての意見を参考に、受動喫煙防止について、より効果的な事業を展開してまいります。

(健康部 保健サービス課)

【健診について】

生活習慣病の予防・改善のためには、定期的・継続的な健康診断の受診が重要です。

今回の調査では、受診状況をお伺いしました。

その結果、「健康診断を受ける時間がない」、「気軽に受診できない」ため、未受診になってしまう方がいることや、土曜日や夜間に健診を実施していることを6割の方が知らないことが分かりました。

この調査結果を踏まえ、協力医療機関との協議を行いながら、健康診断や総合健康診査の更なる普及啓発に努めてまいります。

※令和元年度より、「健診のご案内」の表現を見直すとともに、健診受診の重要性に関するコラムを新たに追加しました。

(健康部 保健サービス課)

【障害の有無に関わらない文化芸術活動について】

全国的にオリンピック・パラリンピックを契機として多様な文化芸術活動の発展への取組みが進められています。

今回の調査では、障害の有無等に関わらない文化芸術活動の認知度や、区に期待されている取組みについてお伺いしました。

その結果、認知度は1割強にとどまるものの、情報発信や機会の提供、意識改革をはじめとして様々なご意見を頂き、多様で平等な文化芸術活動の推進が求められていることが分かりました。

今回いただいたご意見を参考に、本区の文化施策を推進する上での貴重な資料として活用してまいります。

(文化産業観光部 文化振興課)

(2) 第2回アンケート調査

1. 調査項目

「食品ロスの削減について」

「観光振興について」

「住環境について」

2. 調査概要

調査期間：平成30年7月4日～7月17日

調査方法：郵便による調査 77名

Eメールによる調査 123名

回収数：有効回収数 186名

有効回収率 93.0%

3. 調査結果の概要

【食品ロスの削減について】

今回の調査では、9割近くの方が食品ロスという言葉を知っていて、食品ロス削減のための取り組みを実践していることから、区民の皆さんの関心の高さが分かりました。特に食べきれない量を考えて調理したり、注文するなど、自分で出来ることから取り組んでいこうとする姿勢がうかがえました。

食品ロスの削減のために、子供たちへの残さず食べるような教育活動や、スーパーや飲食店等でのポスター掲示等による啓発活動が効果的であるとの回答が多くありました。また、自由意見では、外食時の食べ残しの持ち帰りなど飲食店の協力を求める声も多くありました。

今回いただいたご意見を参考に、さらなる食品ロス削減のため、さまざまな機会をとらえて周知、啓発活動を行ってまいります。

※食品ロス削減の取り組みとして子供たちへの教育が効果的とのご意見を受け、令和元年度の食品ロス削減講座は小学4～6年生の児童とその保護者を対象としました。

(環境清掃部 清掃リサイクル課)

【観光振興について】

2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、本区には国内にとどまらず、海外からも多くの観光客が訪れることが予想されます。これを、台東区が国際文化観光都市として大きく飛躍するチャンスと捉えて、インバウンド施策をはじめとした観光施策を推進していくことが重要です。

今回の調査では、8割を超える方が、観光客の増加に対して好意的に受け止めていることが分かりました。また、多くの方が、飲食業や宿泊業、地場産業等が潤い、経済効果があると感じている一方で、「ごみが増える」、「治安が悪くなる」と感じている方も多いことが分かりました。

今回の調査結果を参考に、区民の皆様の安全安心などの様々な課題への取り組みも含めた総合的な観光施策を展開してまいります。

(文化観光産業部 観光課)

【住環境について】

今回の調査では、現在の住環境についてお伺いしました。その結果、多くの方がマンションに居住されていることが分かりました。また、マンションやアパートの駐輪場について「不足している」と感じ、ワンルームマンションの建設については、「空き家や古い建物の建替えて、災害・防火面で強い建物になるなら安心」という意見がある一方で、「民泊に使われそうで心配」、「ゴミ出し等のルールが守られなさそうで心配」と感じている方が多いことが分かりました。

今回いただいたご意見を参考に、今後の住宅行政に生かし、より良いまちづくりにつなげてまいります。

(都市づくり部 住宅課)

(3) 第3回アンケート調査

1. 調査項目

- 「SHOP たいとうについて」
- 「江戸ルネサンス事業について」
- 「寄附について」

2. 調査概要

調査期間	平成30年10月2日 ~ 10月15日
調査方法	郵便による調査 77名
	Eメールによる調査 123名
回収数	有効回収数 179名
	有効回収率 89.5%

3. 調査結果の概要

【SHOP たいとうについて】

今回の調査では、台東区の魅力発信の一環として区役所1階に設置した「SHOP たいとう」の認知度は、約3割と低く、さらなるPRが必要であると感じました。また、「SHOP たいとう」で販売している商品では、2年後に開催を控えた「東京2020オリンピック・パラリンピック商品」や、30年11月2日にリニューアルオープンした「旧東京音楽学校奏楽堂グッズ」への関心があることもわかりました。

今回いただいたご意見を参考に、「SHOP たいとう」を多くの方に知っていただき、台東区の魅力を伝えられるよう、より一層努めてまいります。

(総務部 総務課)

【江戸ルネサンス事業について】

今回の調査では、「江戸ルネサンス」事業について、約8割の方が「知らない」と回答されており、事業について知ってもらう取り組みがより一層必要であることがわかりました。

また、台東区に色濃く残る江戸の魅力を知っていただく方法としては、「江戸時代の名所・旧跡ツアー」や「江戸時代の美術・工芸等の展覧会の開催」と回答された方が多く、この結果から、台東区に江戸から続く伝統・文化といった様々な地域資源を掘り起し、発信していくことが効果的であると感じました。

今回いただいたご意見を参考に、今後も本事業の推進を図ってまいります。

(文化産業観光部 文化振興課)

【寄附について】

今回の調査では、ふるさと納税の「趣旨も制度も知っていた」と回答された方が約7割、また、「今後都道府県や市区町村に寄附したい」と思っている方が約4割いることがわかりました。

一方で、ふるさと納税により、都市部の税収が地方の自治体へ流出していることについて、約7割の方が「知っている」と回答され、制度への課題などについてのご意見もいただきました。区への寄附（ふるさと納税）については、これまでも活用目的を社会福祉や教育振興などに指定できるようにするとともに、区公式ホームページなどを通じて、制度についても周知に取り組んでまいりました。

いただいたご意見を参考に、引き続き寄附がしやすい環境づくりに取り組むとともに、クラウドファンディングなどの新たな財源確保についても検討を進めてまいります。

(企画財政部 財政課)

(4) 第4回アンケート調査

1. 調査項目

「都市交流について」

「区議会について」

「区政サポーターについて」

2. 調査概要

調査期間：平成30年12月7日～12月20日

調査方法：郵便による調査 78名

Eメールによる調査 122名

回収数：有効回収数 178名

有効回収率 89.0%

3. 調査結果の概要

【都市交流について】

今回の調査では、約5割の方が区と姉妹・友好、連携都市が文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野の交流を行っていることを「知らない」と回答している一方で、6割を超える方が「都市交流に関心がある」と回答されています。このことから、都市交流に関する情報を発信していく一層の取り組みが必要であることがわかりました。

また、区が都市交流を進めていくことについて約8割の方が必要性を感じており、そのための取り組みとして、姉妹・友好都市等の情報や物産を入手できる場所の設置や、交流できる事業やツアーに区民が参加できる機会をつくることなどが挙げられました。

今回いただいたご意見を参考に、様々な分野における区民主体の交流が一層推進されるよう、効果的な都市交流事業を展開してまいります。

(国際・都市交流推進室 都市交流課)

【区議会について】

今回の調査では、「区議会だより」は約7割の方が読んだことがあると回答され、「区議会ホームページ」は約4割の方が見たことがあると回答されています。

一方で、YouTube（ユーチューブ）による委員会の生中継を閲覧したことがあると回答された方は1割以下であることから、皆様にご覧いただけるよう更なるPRが必要であることが分かりました。

今回の結果を踏まえ、区議会の役割や活動について、区民の皆様に関心を持っていただけるような、わかりやすく適切な議会広報に努めてまいります。

(区議会事務局)

平成30年度
広聴一年（区民の声）

発行・編集 令和元年8月
台東区 総務部 広報課
平成31年度登録第21号